

想定した経営類型

小麦(長崎W2号)

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
小麦(長崎W2号)	人	小麦(長崎W2号)	a 800	(1)土地利用型作物の複合経営 (2)作業の一部は委託
	2	合計	800	
		経営耕地面積	水田8ha(自作地4ha、借入地4ha)	
経営目標	1 農業総収入	7,819 千円	4 1日当たり農業所得	73,367 円
	2 農業経営費	3,674 千円	5 1人当たり年間労働時間	226 時間
	3 農業所得	4,145 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	機械倉庫	1	軽量鉄骨 120m <sup>2</sup>	1	千円 6,480	年 24	千円 270
	計				6,480		270
農機具	トラクター	1	31ps(ディーゼル)	1	2,766	7	198
	ロータリー	1	160cm	1	609	7	44
	中耕ロータリ	1		1	597	7	43
	ブロードキャスト	1	ホツパ容量200%	1	275	7	20
	麦踏施肥機	1	乗用	1	400	7	29
	施肥播種機	1		1	366	7	26
	自脱型コンバイン	1	3条刈	1	2,566	7	183
	トラック	1	2t	1	3,000	7	429
	サブソイラー	1		1	435	7	31
	計					11,014	

### 3. 技術体系

#### 3-2. 技術体系(麦作8ha)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業技術				技術の重要事項	
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		使用資材
品種の選定	①種子注文						種子(7kg)	奨励品種から選定する。 毎年種子更新に努める。
種子の予措	①種子消毒	10下～11上	ミキサー	2	0.1	0.20	種子粉衣剤	『県病害虫防除基準』参照
排水対策	①弾丸暗渠(排水溝の設置)	10中～下	トラクターサブソイラー	2	0.1	0.20		前作終了後、極力早く土を乾かす。弾丸暗渠は2m間隔とする。
耕運・整地	①土壌改良剤散布	10下	プロードキャスト	2	0.02	0.04	苦土石灰	PH6.0～6.5とする
	②耕起	11上	ロータリー	2	0.27	0.54		一工程による播種を検討
施肥・播種	①施肥・播種	11中～下	施肥播種機	2	0.25	0.50	種子化成肥料	播種量は大豆等の後作では少なめにし、晩播の場合は増加する。播種後に鎮圧をすると発芽が揃う。
除草	①初期除草剤散布	11下	委託				除草剤	『県病害虫防除基準』参照
	②後期除草剤散布	2中	委託				除草剤	
麦踏	①踏圧	12下	鎮圧ローラー施肥	2	0.17	0.34		3回行う
	②踏圧施肥	1上	鎮圧ローラー施肥	2	0.2	0.40		分けつ肥
	②踏圧施肥	2上	鎮圧ローラー施肥	2	0.2	0.40		穂肥
中耕	①中耕・土入れ	1上	中耕機	1	0.14	0.14		最終的な明渠の設置を兼ねて実施する。
	①中耕・土入れ	3上	中耕機	2	0.14	0.28		
病害虫防除	①農薬散布(1回目)	4上	委託				農薬	『県病害虫防除基準』参照 赤カビ病防除 (小麦・裸麦は2回防除、二条大麦は1回防除)
	②農薬散布(2回目)	4中	委託				農薬	
収穫	①刈取り	5中～下	自脱型コンバイン	2	0.9	1.80	フレコン	出穂後45～50日を目安とする。 小麦は早刈りすると品質が落ちるので刈取期に注意する。
乾燥・調製	①共乾施設	5中～6上	トラック	1	0.3	0.30		共同乾燥施設利用
計				22	2.79	5.14		

